

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
(仮)ドンキホーテ広島宇品店

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										2.2
Q1 室内環境							0.36			2.5
1 音環境						1.6	0.15		-	1.6
1.1 騒音						2.0	0.69		-	
1 暗騒音レベル		2.0	1.00				-			
設備騒音対策			-				-			
1.2 遮音		-	-				-			
1 開口部遮音性能		-	-				-			
2 界壁遮音性能		-	-				-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-				-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-				-			
1.3 吸音		1.0	0.31				-			
2 温熱環境								2.0	0.35	
2.1 室温制御						3.0	0.50		-	
1 室温設定		3.0	0.44				-			
夏期室温制御(自然換気等)			-				-			
3 外皮性能		3.0	0.21				-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.35				-			
夏期室温制御(自然換気等)			-				-			
冬期室温制御(自然換気等)			-				-			
夏期室温制御(自然換気等)			-				-			
冬期室温制御(自然換気等)			-				-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20				-			
2.3 空調方式						1.0	0.30		-	
3 光・視環境						2.7	0.25		-	2.7
3.1 屋光利用						3.0	0.42		-	
1 屋光率		-	-				-			
2 方位別開口			-				-			
3 屋光利用設備		3.0	1.00				-			
3.2 グレア対策		1.0	0.12				-			
眩光対策(リフレク)			-				-			
2 屋光制御		1.0	1.00				-			
3.3 照度		3.0	0.06				-			
1 照度		3.0	1.00				-			
照度対策			-				-			
3.4 照明制御						3.0	0.40		-	
4 空気質環境						3.5	0.25		-	3.5
4.1 発生源対策				全的にF☆☆☆☆採用。(法規チェック図参照)		4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		4.0	1.00				-			
物理汚染対策			-				-			
生物汚染対策			-				-			
化学汚染対策			-				-			
物理汚染対策			-				-			
生物汚染対策			-				-			
4.2 換気		3.0	0.30				-			
1 換気量		3.0	0.43				-			
2 自然換気性能		3.0	0.14				-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.43		-					
給気計画			-		-					
4.3 運用管理						3.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-		-			
2 喫煙の制御		3.0	0.50		-		-			
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.8
1 機能性						2.4	0.40		-	2.4
1.1 機能性・使いやすさ				売場天井高3.3m<3.55m (断面図参照)		3.0	0.48		-	
1 広さ・収納性		-	-				-			
2 高度情報通信設備対応		-	-				-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00				-			
1.2 心理性・快適性		2.0	0.34				-			
1 広さ感・景観		4.0	0.33				-			
2 リフレッシュスペース		1.0	0.33				-			
3 内装計画		1.0	0.33				-			
1.3 維持管理		2.0	0.18				-			
1 維持管理に配慮した設計		2.0	0.50				-			
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50		-		-			
2 耐用性・信頼性						2.8	0.31		-	2.8
2.1 耐震・免震						3.0	0.48		-	
1 耐震性		3.0	0.80				-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20				-			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.33				-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23				-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23				-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09				-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08				-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.15				-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23				-			

	2.3 設備の更新				-		-	
	2.4 信頼性			2.2	0.19		-	
	1	空調・換気設備	電気設備は地下へ設置されていない。非常用発電機設置(工場)	1.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		1.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.4	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			3.4	0.29		-	3.4
	3.1 空間のゆとり			5.0	0.31		-	
	1	階高のゆとり	平均階高4.4m>3.9m (断面図参照)	5.0	0.60		-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.09<0.1 (壁長さ比率計算書参照)	5.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
	3.3 設備の更新性			2.6	0.38		-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性		1.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.34	-	-	1.4
	1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
	2 まちなみ・景観への配慮			1.0	0.40		-	1.0
	3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
	LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
	LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
	1 建物の熱負荷抑制			4.0	0.18		-	4.0
	2 自然エネルギー利用			3.0	0.23		-	3.0
	2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
	3 設備システムの高効率化		ERR=20.7	4.0	0.35		-	4.0
	4 効率的運用			3.0	0.23		-	3.0
	4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
	LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
	1 水資源保護			3.4	0.15		-	3.4
	1.1	節水	節水コマ+擬音装置, 節水型便器 (給排水機器表参照)	4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
	2	雑排水再利システム導入の有無		3.0	0.33		-	
	2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63		-	2.7
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25		-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21		-	
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.21		-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	解体時に分別しやすいボード下地構成のため	4.0	0.25		-	
	3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22		-	3.2
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68		-	
	1	消火剤	スプリンクラー+泡消火設備 (消火設備系統図参照)	4.0	0.33		-	
	2	断熱材		3.0	0.33		-	
	3	冷媒		3.0	0.33		-	
	LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
	1 地球温暖化への配慮		省エネルギー計画書参照	4.4	0.33		-	4.4
	2 地域環境への配慮			2.3	0.33		-	2.3
	2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用していない。(各設備機器表参照)	5.0	0.25		-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		1.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.3	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.33		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33		-	
	3 周辺環境への配慮			2.7	0.33		-	2.7
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
	1	騒音		3.0	1.00		-	
	2	振動		-	-		-	
	3	悪臭		-	-		-	
	3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制			1.6	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70		-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	